---第 24 期---

No.10
2023/3/31

八ヶ岳歩こう会　会報

■事務局からのお知らせ

◎下界では例年より 10 日も早い桜前線のようですが、ここ山里ではどうでしょうか。幾つか桜を見る例会もありますので気になるところです。さて、次号会報では「総会のお知らせ」を出さなければなりません。本当に１年が早いですね。来期は第 25 期になります。何か記念行事を考えたいところです。が、その前に来期は役員改選の年となります。おかげさまで今のところ会長、副会長をはじめ主な役員は継続の意思を示してくれております。有難うございます。しかし役員改選の年は年ですので、念のため皆様からの自薦他薦を頂いて、理事会に諮ろうと考えております。遠慮なく声をあげていただければ、よりスムースに総会が迎えられますので、ご協力よろしくお願いいたします。また、何か記念行事として面白そうなイベントやシリーズを思いつきましたら、それも連絡くだされば有難いです。いずれも事務局へ、又はＭＬへの書き込みでも構いません。随時受け付けますのでご提案よろしくお願い申し上げます。（多賀）

【2023 年 4 月の行事詳細】

■4 月 5 日（水）　月例会　韮崎市民交流センター（ニコリ）2 階第 9 会議室　10：00

■4 月 9 日（日）　※ほくと春のさくらウォーク　ぶらぶら桜めぐり

※印のイベントですが歩こう会でウォークの協力をします。

小淵沢の桜の名所をめぐります、春爛漫の八ヶ岳山麓の雪山と桜の競演を楽しみに是非ご参加下さい。お待ちしています。

集　合：小淵沢駅観光案内所前　午前 9 時

参加費：1000 円（バス代. 保険料込み）

定　員：50 人. 定員次第締切

距　離：8 キロ

解　散：12:30 頃

コース：小淵沢駅～（バス移動）蕪の桜並木～神田大糸桜～三峰の丘～東スポーツ公園～大瀧神社～小淵沢駅

参加申し込み：北杜市観光協会 0551-30-7866

又は歩こう会進藤（09089482017）まで歩こう会のメールでも O. K.

■4 月 10 日(月)　江戸巡礼古道ウォーク(第 4 回)

24 番：法泉寺～2９番:長泉院

秩父札所のおこりは文暦元年(1234 鎌倉時代中期)と伝えられています。長享二年(1488 室町時代中期)には秩父札所番付が実在することから秩父札所が定着していたと考えられます。

ただ当時の札所は三十三カ所で、札所の順番も現在とは異なっていたようです。長野県佐久市にある石碑から大永五年(1525　室町時代後期)には現札所二番の真福寺も含め秩父三十四カ所となり、西国三十三、坂東三十三と合わせ日本百観音と数えられてきたようです。江戸時代までには四萬部寺を一番として始める現在の番付に改められ、点在する札所を結び江戸方面からの巡礼がしやすいよう巡礼道が整備されたようです。秩父札所は江戸からも近くまた全ての札所が秩父内(武蔵の国秩父郡)にあり、二十五里ほどで全てを巡ることができることから江戸時代元禄年間には江戸の庶民の秩父巡礼が盛んになりました。ちなみに西国は一巡約二百五十里、坂東は一巡約三百里で、庶民が巡るにはかなりハードルが高かったと思います。江戸巡礼古道を使い秩父三十四札所を巡るウォークの第四回目です、札所 24 番の法泉寺を出発し札所 29 番の長泉院と 30 番法雲寺のほぼ中間にある道の駅「あらかわ」をゴールの目標にしますが、帰りの時間を優先し４時から４時半頃には秩父を出発します。出発から 25 番の久昌寺までは久那みちと呼ばれ江戸巡礼古道の面影をよく残した山道です、第三回目の 23 番から 24 番で歩いた山道(長尾根みち)を思い出します。清雲寺と昌福寺は札所ではありませんが、29 番長泉寺と合わせて荒川しだれ桜の名所となっています、長泉寺とゴールを予定している道の駅「あらかわ」の中間にあるので、時間と皆さん(私も)の残りの体力と相談しながら、ちょっと寄り道して見ていきたいと思います。

・コース：法泉寺(24 番) → 久昌寺(25 番) → 円融寺(26 番) → 大渕寺(27 番) → 橋立堂(28 番) → 長泉院(29 番) → 清雲寺 → 昌福寺 → 道の駅「あらかわ」
　　トイレは各札所とコース上にいくつかあります。昼食場所は 26 番円融寺を予定しています、ゴールは進行状況により前後します。

・距　離：約 12km

・集　合：平田家住宅前駐車場 7：00　甲府駅北口 7：50
　　道の駅花かげの郷まきおか 8：30

・解　散：道の駅花かげの郷まきおか 18：20 頃　甲府駅北口 19：00 頃
　　平田家住宅前 20：00 頃

・参加費：会員 500 円　一般 1,000 円　バス代　会員 5,500 円　一般 6,000 円(バス代は参加者数等により増減の可能性があります)

・持ち物：弁当、飲み物、雨具、ウオーキングダイアリー(会員のみ)、保険証等

・担当者：大嶋俊壽(080-2044-4766)　多賀純夫

・申込み：「バス乗車地」と「携帯番号」を添えて以下に申し込んでください。
　多賀純夫　Mail: taga-ya@pairhat.jp　Fax:0551-32-6877

■4 月 13 日(木)　わが町シリーズ・白州(白須)ウォーク

白州町には 3 つの日本百選があります。甲斐駒ヶ岳(日本百名山 2967m)、清流の尾白川は「日本百名水」、江戸時代に甲州街道の宿場町として栄えた台ヶ原宿は「日本の道百選」

です。
四季折々素敵な白州町ですが、今回は春の白州町をご案内します。北杜市の春は他の地域より少し遅いですが、参加者の皆さんと一緒に里山歩きを楽しみたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

神宮川の桜

モアイ像(山の絵・蔵のギャラリー)

・コース：道の駅はくしゅう(トイレ) → 尾白の森名水公園(トイレ) → 竹宇天満宮社 → 法全寺 → 前沢正八幡神社 → 桜並木(昼食) → 山の絵・蔵のギャラリー(トイレ) → 白須松原の址碑 → フランク(ソーセージの店) → 道の駅はくしゅう(トイレ)
・距　離：約 10 キロ
・集　合：道の駅はくしゅう駐車場　9：30
山梨県北杜市白州町白須 1308
・解　散：道の駅はくしゅう駐車場　15：00 頃
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：お弁当・飲み物・雨具・ウォーキング手帳・保険証など
・担当者：小林光修(090-4676-2067)　市川富美子(090-2622-3688)

■4 月 29 日(土)　城跡及び館跡巡りシリーズ(第９回) 勝沼氏館跡ウォーク

城跡及び館跡巡りシリーズ、暫く休んでいました。又、ぶらりと史跡などを訪れながら

のウォーキングを実施していきたいと思います。
今回は、勝沼氏館跡を訪れます。笛吹川の支流である日川右岸の小高い丘に築かれた戦国時代の館跡になります。武田信虎の弟であり、勝沼氏を名乗った勝沼信友の居館になります。１９７３年、県立ワインセンターを建設する際に発見された館跡で、現在は国指定史跡であり土塁や堀が復元された公園になっています。
園内は、綺麗に整備されて案内板もわかりやすく書かれています。見学の後は、宿場の面影が色濃く残る甲州街道の勝沼宿とワインの里巡りになります。
コースにおいては、アップダウンの少ないコースになっていますが、上町信号より勝沼ぶどう郷駅までに、緩やかに登っています。列の間隔を余り開けないように、ゆっくりとしたペースの歩行になります。又、水分補給と休憩時間を十分にとりながらのウォーキングにしていきます。

・コース：勝沼ぶどう郷駅(トイレ)→勝沼氏館跡(トイレ)→祝橋→宮古園→ぶどうの国文化館(トイレ)→ワイン村河川公園(昼食)→旧田中銀行博物館・ようあん坂・本陣槍掛けの松→勝沼ぶどう郷駅(トイレ)
・距　離：約 10ｋｍ
・集　合：JR 勝沼ぶどう郷駅　10：00
上り　小淵沢駅 8：21→甲府駅 9：00・甲府駅 9：17→勝沼ぶどう郷駅 9：48
下り　大月駅 9：27→勝沼ぶどう郷駅 9：50
・解　散：勝沼ぶどう郷駅　15：00
上り　勝沼ぶどう郷駅 15：18→大月駅 15：41
下り　勝沼ぶどう郷駅 15：18→甲府駅 15：42→小淵沢駅 16：22
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：お弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイァリー・保険証・マスク・その他
・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)　小林光修(090-4676-2067)
・その他：勝沼家について、　勝沼信友は、勝沼衆を率いて隣の郡内地方を領していた小山田氏を監視するための役目を負っていて、又、武蔵の国上杉氏と相模の国北条氏への要衝にあたる戦略的にも重要な場所に館を構えていた。甲斐の守護大名である武田信虎の弟にあたり、勇猛果敢な武将びあったと言われている。
信虎の信頼が厚かったと言われている。黒川金山を任されていたとも。一説によると、信友の息子である信元は、信玄によって謀反の疑いで成敗されたと言われている。(信玄と信元は従弟になる)
話がそれて、嘘か誠か、１９７１年・旧勝沼町のぶどう園より、甲州金１８個が出てきました。武田の埋蔵金の一部が出てきたと噂になったそうです。少し夢があります。(勝沼館跡とぶどう園は距離が近い)

【2023 年 5 月の行事詳細】

■5 月 10 日(水)　月例会　韮崎市民交流センター(ニコリ) 2 階第 9 会議室　10：00

■5 月 15 日(月)　小淵沢・馬場の里ウォーク

小淵沢には棒道と並ぶ素敵なウォーキングコース「馬場の里」があります。コースには「大滝神社」と名水百選の一つ八ケ岳南麓広原湧水群の「大滝湧水公園」があります。ここで一休みし「三峰の丘」へ。お天気に恵まれれば、正面に甲斐駒ケ岳、鳳凰三山、富士山、八ケ岳と入笠山の先に奥穂高の遠望を観る事が出来ます。そこから暫く歩いて行くと 2 体のお地蔵さんが出迎えてくれます。この地蔵さん、随分探したんですよ。小淵沢の教育委員会の方に教えて頂きました。見つけた時にはとても嬉しかった。その後は「城山（篠尾塁跡）」へ。武田信虎・信玄の時代、甲斐国平定に重要な役割を果たした処です。特に信濃国諏訪対峙の時代、篠尾塁は甲斐国の要害として貢献したそうです。ここで昼食にします。休憩後に金比羅神社へ。金比羅神社は、金比羅山（丸山）の中央にあり、七里ケ岩台地の最高峰。武田信玄は、金比羅大神を祀り、この里の繁栄と健康を祈願し、宇津保木と呼ばれていた地名を敢えて金比羅山と名付けたと云う。馬場の里は、七里ケ岩の崖上にある笹尾塁跡を中心に、金比羅山、馬場池などからなり、素晴らしい展望が開けています。笹尾の里山は、奥秩父山塊の金峰山から霊峰富士山まで望める穏やかで美しい里山です。（現地解説参照）

三峰の丘

金比羅神社

・コース：小淵沢駅 ～ 大滝湧水（トイレ） ～ 三峰の丘 ～ 鼻取地蔵 ～ 子持地蔵 ～ 城山公園（トイレ） ～ 金比羅神社 ～ 馬場池 ～ 東スポーツ公園 ～ 八反分堰 ～ 小淵沢駅

・距　離：約 14 キロ

・集　合：小淵沢駅　9 時 10 分

下り　甲府 8：09～韮崎 8：28～穴山 8：36～小淵沢 9：02

上り　松本 7：29～塩尻 7：57～茅野 8：26～小淵沢 8：48

・解　散：小淵沢駅　15 時頃

下り　小淵沢 15：29～茅野 16：16～岡谷 16：31

上り　小淵沢 15：38～韮崎 16：04～甲府 16：18

・参加費：会員 300 円　一般 500 円

・持ち物：お弁当・飲み物・雨具・ウォーキング手帳・保険証など

・担当者：市川富美子（090-2622-3688）　小林光修（090-4676-2067）

・その他：コースは約 14 キロです。膝痛、腰痛などで全コース歩けるか不安な方は前半コース（小淵沢駅～城山公園駐車場）だけ歩くか、後半コース（昼食場所の城山公園から小淵沢駅まで）を歩く事も可能です。前半の小淵沢駅から城山公園まで約 9 キロ、後半の城山公園から小淵沢駅まで約 5 キロ程になります。半分ウォークをご希望の方はご友人と相談して一台を城山公園に置き、もう一台は小淵

沢駐車場へ。この場合、歩き終わったときに城山公園に置いてある車を引き取ることになります。担当者は送迎をしませんので各自でご友人とご相談の上、ご参加をお願いします。

■5 月 22 日(月)　北山野道を歩く(第 2 回) ～小松の里～

山梨には甲斐九筋と呼ばれる酒折を起点とする九本の古道がありますが、一方で江戸時代の甲斐の国の行政区画には三郡九筋と呼ばれる地域区分があり（山梨郡・八代郡・巨摩郡、栗原筋・万力筋・大石和筋・小石和筋・中郡筋・北山筋・逸見筋・武川筋・西郡筋）甲府市北部一帯は北山筋と呼ばれていました。このあたりが山梨郡北山筋と巨摩郡北山筋に属していたことによります。北山筋の山すそには古くからの歴史・文化が多く残されており、四季折々の植物や虫たちとの出会いが楽しめます。この北山筋の野の道という意味で北山野道と名付けられたルートは表門（うわと）の里、板垣の里、小松の里、志摩の里の四つの里から成っていて、途中での寄り道の仕方で変わりますが、概ね 35Km のコースです、これを 3 回に分けて歩きます。(東の一部は山梨郡万力筋)

第 2 回目は小松の里です。北山野道では中央線より北側の小松、塚原、上下積翠寺、古府中、岩窪などの相川扇状地を中心とした一帯の地域を小松の里と呼んでいます。この里の歴史は武田信虎が躑躅ヶ崎に館をかまえてから三代にわたって甲斐の国を治めた時代が中心となります。甲府城跡と武田氏館跡との間には武田氏ゆかりの寺院や遺跡などが数多くありますが､これらは皆さん何度も訪れていると思われますので今回はパスし、武田氏館跡より北側の地域を中心に自然と歴史を訪ねます。

・コース：JR 甲府駅(トイレ)→武田氏館跡(トイレ)→竜ヶ池→若宮八幡神社→興因寺→白山神社→積翠寺→要害城跡→恵運院→古府中 1 号公園（トイレ）→武田氏館跡(トイレ)→JR 甲府駅(トイレ)　昼食場所は検討中です
・距　離：約 12Km
・集　合：JR 甲府駅北口　9 時 50 分
上り　小淵沢発 8：48　甲府着 9：32　　下り　山梨市発 9：23　甲府着 9：37
・解　散：JR 甲府駅　15：30 頃
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：弁当・飲み物・雨具・マスク・ウオーキングダイアリ(会員のみ)・保険証・その他
・担当者：大嶋 俊壽(080-2044－4766)
・その他：前半はずっと上りで少々きついので甲府駅→武田氏館跡(武田神社)は路線バスの利用を考えています。

■5 月 27 日(土)　城跡・館跡巡りシリーズ(第 10 回) 大八田・深草館跡ウォーク

深草館跡は、雄大な八ヶ岳南麓に広がる田畑の中にある大八田(おおばった)集落の一角に位置します。近くにある国の指定史跡・金生遺跡は、北の方向 400m先になります。今回のコースは、歩こう会で幾度も歩きました。本当に懐かしくなります。

コースにおいては、長坂という字の通り坂があります。列の間隔を余り開けないように歩行ペースに注意していきます。又、水分補給と休憩時間を十分に取りながらのウォーキングになります。

深草館跡については、別名は深草塁又は深草城とも言われています。平城(ひらじろ)になります。県指定の史跡になります。築城時期と築城城主は、はっきりしていないそうです。一時期の城主は、武田家臣・堀内下総守だと言われています。近くにある、国指定の史跡、谷戸城の出城だったと言われています。戦国時代は、信玄棒道及び佐久往還に近く戦略的にも重要な場所であったと言われています。案内板は遠慮深げに建っています。東側から南側にかけて、深い空堀が良く残っています。土塁や堀切・曲輪等の姿が確認できます。

金生遺跡

深草館跡案内板

・コース：JR 長坂駅(トイレ)→清光寺→八ヶ岳 PA(トイレ)→金生遺跡(昼食・トイレ)→深草館跡→長坂駅(トイレ)

※深草館跡は、西側の農道横には館跡入口らしき丸太が３本架けられています。又、個人の方が管理されているそうです。無断で見学してもいいのか躊躇します。今回は、安全を考えて登城中止にします。堀の外より見学できます。

・距　離：約 10.5ｋｍ

・集　合：JR 長坂駅　10：15

上り　小淵沢駅 10：02→長坂駅 10：09

下り　塩山駅 9：00→甲府駅 9：32→長坂駅 10：12

・解　散：長坂駅　15：30 頃

・参加費：会員 300 円　一般 500 円

・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイァリー・保険証・マスク？・その他

・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)　小林光修(090-4676-2067)

市川富美子(0551-37-6440)

■新緑の棒道ウォーク(予定)

【2023 年 6 月の行事詳細】

■6 月 5 日(月)　江戸巡礼古道ウォーク(第 5 回)

■6 月 7 日(水)　定期総会　韮崎市民交流センター(ニコリ)

■6 月 24 日(土)　城跡・館跡巡りシリーズ(第 11 回) 花水・曲渕氏屋敷跡ウォーク